

令和6年度12月補正
政策予算説明資料

目 次

1. 総合政策部	1
・ 特定地域づくり事業推進業務	
2. 財政部	2
・ ポートレース未来基金積立金の減額	
3. 市民部	3
・ 戸籍氏名の振り仮名記載業務	
4. 保健部	4
・ 豊田中央病院経営改善支援事業	
5. 環境部	5
・ 脱炭素先行地域づくり推進事業	
6. 農林水産振興部	6
・ 森林づくり推進事業	
7. 観光スポーツ文化部	7
・ 海響館改修事業	
8. 建設部	8
・ 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業	
・ 白雲台団地公営住宅等整備事業(2期)	
9. 都市整備部	10
・ 安岡地区複合施設整備事業	
・ 豊浦地域[川棚温泉エリア]再生事業	

10. 教育委員会 12

- ・ 玄洋中学校区小中一貫教育校整備事業
- ・ 新下関学校給食センター運營業務

11. 上下水道局 14

- ・ 長府浄水場更新事業

事業名	特定地域づくり事業推進業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費		
総合計画の体系	第1章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	—
担当課名	企画課	開始年度	令和6年度

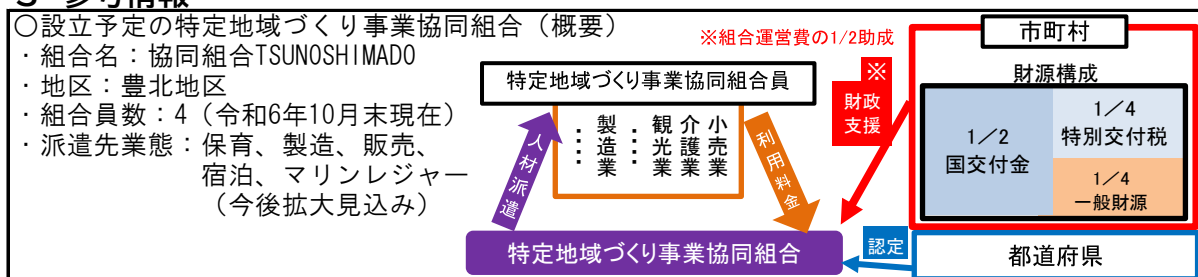
1 事業の概要・取組

概要	「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」に基づく特定地域づくり事業協同組合（複数の事業者により季節毎の労働需要等に応じて労働者を派遣する事業等を実施するもの）に対し、設立支援及び運営経費の支援を行う。
令和6年度の主な取組	12月 特定地域づくり事業協同組合設立（予定） 翌年1月 労働者派遣事業開始（予定）

2 事業の目標指標(活動指標)

指標説明	単位	R5(実績)	R6	R7	最終(R7年度)
事業協同組合が雇用する派遣労働者数	人		2	2	2

3 参考情報



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費				1,800	1,800	4,000
主要な経費	補助金(設立支援)			800	800	
	補助金(運営支援)			1,000	1,000	4,000
財源	国庫支出金			500	500	2,000
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			1,300	1,300	2,000

事業名	ボートレース未来基金積立金の減額		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 ボートレース未来基金費		
総合計画の体系	第8章 第4節 行財政の健全化	実施計画番号	—
担当課名	財政課	開始年度	令和4年度

1 事業の概要・取組

概要	特別交付税の控除項目であるボートレース事業収益が基準財政需要額の5%を超えたため、特別交付税が減額される。そのため、地方交付税（歳入）を減額し、その補填としてボートレース未来基金への積立額（歳出）を同額減額するもの。
令和6年度の主な取組	ボートレース事業会計の剰余金処分において、一般会計への繰出として処分された利益剰余金を受け入れ、ボートレース未来基金に積み立てる。 ボートレース未来基金積立額 105億円 (9月補正額：120億円、12月補正額：▲15億円)

2 事業の目標指標(活動指標)

指標説明	単位	R5(実績)	R6	R7	最終(R6年度)

3 参考情報

- 特別交付税の減額
- ・ボートレース事業収益 (A) : 14,718,527千円 (令和5年10月1日～令和6年9月30日)
 - ・令和6年度基準財政需要額 : 56,193,031千円
 - 基準財政需要額×5% (B) : 2,809,652千円 (A) > (B)

- 基金現在高 (単位：千円)

区分	R6. 11. 1現在高	R6中の動向		R6末現在高 見込み
		積立て	取崩し	
ボートレース未来基金	9,546,985	10,500,000	6,071,450	13,975,535

4 予算情報

(単位：千円)

年 度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費			12,000,000	▲ 1,500,000	10,500,000	
主要な経費	積立金		12,000,000	▲ 1,500,000	10,500,000	
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		12,000,000	▲ 1,500,000	10,500,000	

事業名	戸籍氏名の振り仮名記載業務		
予算区分	一般会計 総務費 戸籍住民基本台帳費 戸籍住民基本台帳費		
総合計画の体系	第8章 第3節 行政機能の充実	実施計画番号	—
担当課名	市民サービス課	開始年度	令和6年度

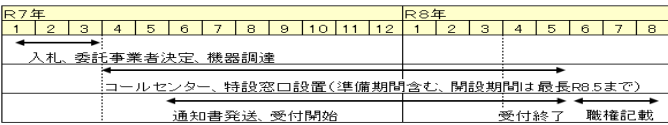
1 事業の概要・取組

概要	改正戸籍法の施行日（令和7年5月26日）以降、届出等により、氏名の振り仮名が戸籍に記載され、公証されることとなる。本事業は、今後、国が定めるスケジュールに沿って、全国の自治体で対応する必要がある、本市においても、遅滞なく事務処理を進めるもの。
令和6年度の主な取組	令和6年度は、振り仮名の通知や、届出のための特設窓口、コールセンターの設置等に必要な契約準備を行う。これにより、当該制度及び届出について、市民によりわかりやすく案内ができるよう取り組む。

2 事業の目標指標(活動指標)

指標説明	単位	R5(実績)	R6	R7	最終(R8年度)
届出等による戸籍への氏名の振り仮名記載件数	件			73,000	295,000

3 参考情報

○対象件数 ・本籍人口※ 約29.5万人 ・通知件数 約20万通 ・届出見込件数 約7.3万件	○事業期間 令和7年1月～令和8年8月（予定） 						
※本籍人口とは、本市に備え付けである現在戸籍に在籍する人の総数をいう。	○債務負担行為 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th><th>期間</th><th>限度額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸籍氏名の振り仮名記載業務</td><td>令和7年度</td><td>62,000</td></tr> </tbody> </table>	事項	期間	限度額	戸籍氏名の振り仮名記載業務	令和7年度	62,000
事項	期間	限度額					
戸籍氏名の振り仮名記載業務	令和7年度	62,000					

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費						62,000
主要な経費	特設窓口・コールセンター設置に係る費用			債務負担行為の設定		46,000
	戸籍端末等追加設置費用					9,000
	通知書作成業務					7,000
	国庫支出金					7,000
財源	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源					55,000

事業名	豊田中央病院経営改善支援事業		
予算区分	一般会計 衛生費 病院費 病院費		
総合計画の体系	第7章 第1節 保健・医療の充実	実施計画番号	—
担当課名	地域医療課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	医師等の医療従事者の不足により令和5年度決算で資金不足が生じている豊田中央病院の経営改善を図るため、支援を行う。
令和6年度の主な取組	総務省の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」の活用や医師確保対策の強化により経営改善に取り組むとともに、令和6年度に資金不足が発生しないように経営支援交付金の交付などを行う。

2 事業の目標指標(活動指標)

指標説明	単位	R5(実績)	R6	R7	最終(R6年度)
資金不足比率 (資金の不足額/事業の規模)	%	5.7	資金不足無し		資金不足無し

3 参考情報

【経営改善取組事項及び支援内容】	
・ 経営支援交付金の交付 ・ 一般会計貸付金の償還方法の変更（元金10年償還→満期一括償還） ・ 総務省「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」の活用 ・ 医師確保対策の強化 等	

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費				250,000	250,000	
主要な経費	補助金			250,000	250,000	
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)			250,000	250,000	
	一般財源					

事業名	脱炭素先行地域づくり推進事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 公害対策費		
総合計画の体系	第4章 第1節 自然環境の保全	実施計画番号	—
担当課名	環境政策課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	本市は、全国に先駆けて2030年までに脱炭素を達成する「脱炭素先行地域（第5回）」に選定された。この計画は令和6年度から令和11年度にかけて実施するもので、「あるかぼーと・唐戸地区」を中心とするエリアにおいて民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO ₂ 排出の実質ゼロを達成する。
令和6年度の主な取組	・公共用地への太陽光発電導入に係る接続検討・設計 ・地域リース事業の制度設計 ・環境配慮行動優良事業者認定制度の改定検討 ・主要な取組ごとに庁内関係部局、共同提案者、協力事業者及びステークホルダーをメンバーとした会議体の構築・運営

2 事業の目標指標(活動指標)

指標説明	単位	R5(実績)	R6	R7	最終(R11年度)
脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額	千円		0	0	714, 876

3 参考情報

委託内容：推進事業支援業務委託
 委託期間：R7.1～R7.3（3か月分）
 財 源：二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）

4 予算情報

(単位:千円)

年 度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費				10,000	10,000	
主要な経費	委託料			10,000	10,000	
財 源	国庫支出金			10,000	10,000	
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源					

事業名	森林づくり推進事業			
予算区分	一般会計 農林水産業費 林業費 造林費			
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—	
担当課名	農林水産整備課	開始年度	平成27年度	

1 事業の概要・取組

概要	地域が育む豊かな森林づくり推進事業として、山頂の修景整備、史跡地、海岸林等の森林整備を実施する。
令和6年度の主な取組	当初整備箇所（延行・有富地区、吉賀地区）に加えて、狗留孫山（杣路子地区）の登山道の森林整備として、倒木の危険性のある樹木を伐採し、登山者の通行の安全を図る。

2 施設の概要、計画等

【森林づくり推進事業】	
○当初予算	
整備箇所：延行・有富地区（本庁）、吉賀地区（菊川）	
委託料：5,900千円	
整備内容：竹林伐採 1.51ha（本庁）	
修景伐採 2.57ha（菊川）	
○12月補正予算	
整備箇所：杣路子地区（豊田）	
委託料：4,897千円	
整備内容：危険木伐採 28本	



3 予算情報

(単位:千円)

年 度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費		5,900	5,900	4,897	10,797	6,390
主要な経費	委託料	5,900	5,900	4,897	10,797	6,390
財源	国庫支出金					
	県支出金	5,900	5,900	4,897	10,797	6,390
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源					

事業名	海響館改修事業		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 水族館費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	5
担当課名	観光施設課	開始年度	令和元年度

1 事業の概要・取組

概要	海響館は開館から20年以上が経過し、施設の長寿命化対策や新たな展示の導入等が必要となっていることから、改修工事を行うもの。
令和6年度の主な取組	建築主体工事においては地中障害物により工事に支障をきたし増工が必要となった。電気設備工事においては物価等の高騰に対応するためインフレスライドを行う。また、機械設備工事は当初改修予定ではなかったポンプに不具合が生じているため交換する。これらの増額分について継続費を変更し、変更契約を行う。

2 施設の概要、計画等

- 施設の概要
市立しものせき水族館「海響館」
平成13年4月開館（平成22年3月 ペンギン村開館）
- ・施設規模 本館 延床面積 12,277.53㎡
ペンギン村 延床面積 2,112.57㎡
 - ・構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上4階



- アシカ展示施設の概要
- ・延床面積 98.45㎡
 - ・構造 鉄筋コンクリート造 地下1階

○継続費の年割 (単位：千円)

補正前			補正後		
総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
3,069,000	R5	131,000	3,144,000	R5	131,000
	R6	1,097,400		R6	1,097,400
	R7	1,840,600		R7	1,915,600

3 予算情報

(単位：千円)

年度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費		142,000	1,097,400		1,097,400	1,915,600
主要な経費	工事請負費	111,000	1,000,400	継続費の補正	1,000,400	1,886,600
	委託料	5,000	63,000		63,000	15,000
	事務費	26,000	34,000		34,000	14,000
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	127,700	986,000		986,000	1,720,600
	その他特定財源 (基金繰入金)	13,000	110,000		110,000	
一般財源		1,300	1,400		1,400	195,000

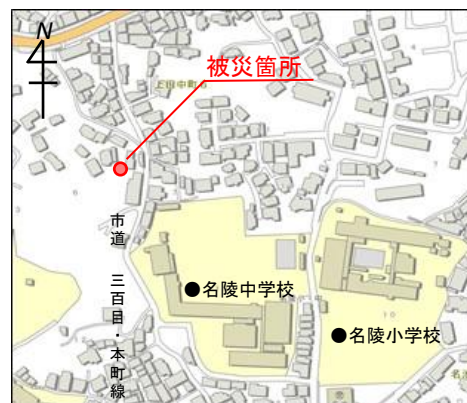
事業名	災害関連地域防災がけ崩れ対策事業			
予算区分	一般会計 土木費 河川費 急傾斜地崩壊対策事業費			
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備	実施計画番号	—	
担当課名	道路河川建設課	開始年度	令和6年度	

1 事業の概要・取組

概要	令和6年7月の豪雨（激甚災害）に伴い土砂災害特別警戒区域内でがけ崩れが発生したため、緊急に対策工事を実施する。
令和6年度の主な取組	がけ崩れが発生した箇所について、対策工事に係る実施設計業務及び対策工事等を実施する。

2 施設の概要、計画等

- ・箇所名 上田中町（一）（16）（L=12m）
- ・事業場所 上田中町六丁目地内
- ・事業期間 令和6年度～令和7年度
- ・工事内容 実施設計、吹付法砕工、用地測量



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費				47,000	47,000	
主要な経費	委託料			10,000	10,000	
	工事請負費			35,000	35,000	
	事務費			2,000	2,000	
財源	国庫支出金					
	県支出金			33,750	33,750	
	市債			11,400	11,400	
	その他特定財源 (分担金)			562	562	
	一般財源			1,288	1,288	

事業名	白雲台団地公営住宅等整備事業（2期）		
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費		
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備	実施計画番号	31
担当課名	住宅政策課	開始年度	令和3年度

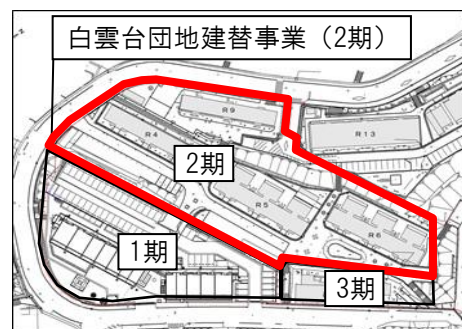
1 事業の概要・取組

概要	白雲台団地建替事業1期に引き続き、白雲台団地の既存建物R4棟、R5棟、R6棟及びR9棟について、PFI手法による建替事業を行う。
令和6年度の 主な取組	物価高騰に伴い、事業費を増額し、併せて債務負担行為を再度設定するもの。

2 施設の概要、計画等

○計画概要

- ・ 建替対象棟数及び戸数 : 4棟 90戸（R4棟、R5棟、R6棟、R9棟）
- ・ 整備棟数及び戸数 : 1棟 70戸
- ・ 住戸タイプ : 1DK (28戸)
2DK (28戸)
3DK (14戸)
- ・ 事業スケジュール（予定）
 - 令和6年度 建設工事
 - 令和7年度 建設工事及び本移転、建替事業完了



3 予算情報

(単位:千円)

年 度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費		271,185	539,131	59,000	598,131	765,217
主要な経費	委託料	270,816	538,758	59,000	597,758	744,040
	補償金					20,737
	事務費	369	373		373	440
財源	国庫支出金	125,185	269,131		269,131	378,202
	県支出金					
	市債	146,000	270,000	59,000	329,000	372,500
	その他特定財源 (使用料)					14,515
	一般財源					

事業名	豊浦地域〔川棚温泉エリア〕再生事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費 一般会計 土木費 都市計画費 公園費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	6
担当課名	地域政策課 / 公園緑地課	開始年度	令和5年度

1 事業の概要・取組

概 要	豊浦地域及び川棚温泉エリアにかつての賑わいを取り戻すため、「穏やかで優しい、豊かな風土を活かした、『癒やしの小旅行』を可能にするまちづくり」を目指し作成した地域再生計画に基づき、地域資源を活用した様々な事業を川棚温泉エリアを中心に展開し、その波及効果を豊浦地域全体にもたらすことで、地域を活性化させ、まちの賑わいを創出するもの。
令和6年度の主な取組	リフレッシュパーク豊浦野外ステージ整備について、屋根や電気設備等の設計内容の見直し等により事業費を増額し、併せて繰越明許費を設定するもの。

2 事業の目標指標(活動指標)

指標説明	単位	R5(実績)	R6	R7	最終(R7年度)
川棚温泉エリア等の観光客数	人	285,753	274,300	280,700	280,700

3 参考情報

○施設の概要

規 模 : 建築面積 139.12㎡
延床面積 139.12㎡
主要構造: 鉄骨造、平屋建て

○野外ステージ整備

当初予算額 : 66,300千円
補正後予算額: 108,800千円

○事業計画

令和5年度: 野外ステージの地質調査及び実施設計
令和6年度: 野外ステージの工事監理及び建設工事



4 予算情報

(単位:千円)

年 度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費		37,000	145,000	42,500	187,500	31,053
主要な経費	委託料	27,100	21,850	500	22,350	23,853
	工事請負費		112,500	42,000	154,500	
	補助金		8,750		8,750	7,200
財 源	国庫支出金	8,402	39,350		39,350	15,526
	県支出金					
	市債	20,100	91,100	42,500	133,600	
	その他特定財源					
	一般財源	8,498	14,550		14,550	15,527

事業名	玄洋中学校区小中一貫教育校整備事業		
予算区分	一般会計 教育費 中学校費 学校建設費		
総合計画の体系	第3章 第3節 学校教育力の向上	実施計画番号	—
担当課名	学校支援課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	現玄洋中学校において、2小学校（本村小・西山小）と1中学校（玄洋中）を、施設一体型小中一貫教育校として整備し、令和9年4月に開校する。
令和6年度の主な取組	令和6～7年度 実施設計 令和7～8年度 実施設計後、工事発注～整備、8年度内の完成を予定

2 施設の概要、計画等

■補正の理由

令和6年7月に、開校準備協議会において「開校時期を令和9年4月1日とする」ことが確認された。このことを受け、本市においても、令和6年8月8日付けで、当該開校時期に向け、具体的な準備を進めることを方針決定した。開校時期を厳守し、期間内に施設整備を進めるため、早期に実施設計を完了し工事発注する必要があることから、予算を補正するもの。

3 予算情報

(単位:千円)

年 度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費				50,000	50,000	未定
主要な経費	委託料			50,000	50,000	
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)			50,000	50,000	
	一般財源					

事業名	新下関学校給食センター運営業務		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 学校給食共同調理場費		
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上	実施計画番号	24
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	新下関学校給食センターは、老朽化した学校給食施設を集約し、民設民営方式により、令和6年度から公立小中学校22校への給食提供を開始した。食物アレルギーへの対応のほか、現行の学校給食衛生管理基準に沿った衛生的で安全な学校給食の提供を行っている。
令和6年度の主な取組	新下関学校給食センターは、全児童生徒数16,428人中6,402人（令和6年5月1日現在）を対象として、学校給食の提供を行っている。 人件費単価の上昇及び物価高騰、次年度以降の受配校の追加等に対応するため、学校給食調理等業務に係る事業費を増額し、あわせて債務負担行為を再度設定するもの。

2 事業の目標指標(活動指標)

指標説明	単位	R5(実績)	R6	R7	最終(R20年度)
年間提供食数	万食		132	140	150

3 参考情報

■契約額（支払上限額）（千円）					
	R6	R7以降	合計		
現行	786,593	9,386,400	10,172,993		
変更後	821,983	9,667,825	10,489,808		
■R6執行見込（千円）					
予算現額	736,368				
執行見込	762,368				
不足額	26,000				
■債務負担行為（千円）					
	限度額	期間			
現行	10,173,000	R6～R20			
再設定	9,668,000	R7～R20			

4 予算情報

(単位:千円)

年 度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事 業 費			736,368	26,000	762,368	757,798
主 要 な 経 費	委託料		736,368	26,000	762,368	757,798
財 源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金・諸収入)		232,034		232,034	
	一般財源		504,334	26,000	530,334	757,798

事業名	長府浄水場更新事業		
予算区分	水道事業会計 資本的支出 建設改良費 長府浄水場更新事業費		
総合計画の体系	第6章 第4節 上水道の整備	実施計画番号	42
担当課名	水道施設課	開始年度	平成22年度

1 事業の概要・取組

概要	長府浄水場は、本市の約80%の浄水を担う市内最大の浄水場であるが、築後70年以上経過し、施設の老朽化が顕著に表れている。このことから、安定供給のための施設能力向上と併せ、事故や災害に強い施設とするために、DB0方式により更新事業を行う。
令和6年度の主な取組	物価高騰等に伴い、建設工事に係る事業費を増額するため、債務負担行為を再度設定するもの。 ・長府浄水場更新事業（設計業務、撤去工事、地盤改良工事、導水管推進工事等） ・長府浄水場更新事業に係る工事監理等支援業務

2 施設の概要、計画等

○事業計画

- ・事業期間：平成22年度～令和26年度
- ・浄水処理方法：生物接触ろ過（上向流）+凝集（+粉末活性炭）+沈殿+再凝集+急速ろ過
- ・計画浄水量：88,000m³/日（既設浄水量 110,000m³/日）
- ・事業者：神鋼環境ソリューショングループ
- ・契約額：27,976,158,100円

長府浄水場完成予想図



○事業スケジュール

- ・設計・建設工事期間：令和4年8月～令和18年11月（14年3か月）
- ・施設維持管理期間：令和11年10月～令和26年9月（15年間）

○債務負担行為（令和7年度から令和26年度まで）

- ・限度額：28,151,781千円

3 予算情報

(単位:千円)

年 度		R5予算	R6予算			R7予定
			補正前	補正額	計	
事業費		255,738	1,479,330		1,479,330	1,251,715
主要な経費	設計業務及び建設工事	199,108	1,446,526	債務負担行為の再設定	1,446,526	1,225,165
	委託料	55,737	29,557		29,557	26,246
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債		973,700		973,700	904,900
	その他特定財源	255,738	505,630		505,630	346,815
	一般財源					